

集会案内

日曜日

礼拝 : 2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榑原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール : nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)527-1456

Eメール:sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「アーバイン教会の二〇二二年を振り返って」

今年もコロナのパンデミックに振り回される年となったが、そのような暗い世の中で、教会には明るいニュースもあった。それは子供礼拝が始まったことである。そのキツカケは、この七月にNファミリーがお子さん3人を含めた家族連れで来られたことや、幼いN君が続けて礼拝に見えていたことである。それによって他の家族の幼な子たちも次々と顔を見せてくれたことで、今や子供礼拝が盛り上がりを見せている。アーバイン教会に久しぶりに賑やかさが戻ってきた。礼拝は当然、子供たちを交えた礼拝になって、時には喧騒な時もあるが、礼拝とはつくづく家族みんなが一緒になってするものだと思われている。

主イエスが五千人の給食をなさった時、男だけで五千人、他に婦女子も大勢いた。その群衆の中にいた一人の子供が持っていた大麦パンで、主は奇跡を行い皆が満ち足りたのだった。そこでは大人中心の礼拝のように思われるが、そうではなく子供たちも一緒だったのである。主は、子供たちがご自分のもとに来ることを喜ばれている。「イエスにさわっていただくために、人々が幼な子らをもとに連れてきた。ところが、弟子たちは彼らをたしなめた。それを見てイエスは憤り、彼らに言われた、『幼な子らをわたしの所に来るがままにしておきなさい。止めてはならない。神の国はこのよな者の国である。』(マルコ十・13、14)とある。主は一人一人の幼な子を抱き、手を置いて祝福されたのだった。

ここで不思議なのは、主が幼な子たちを来るがままにしておいたことである。おそらく五千人の給食の時も、主の周りには、多くの幼な子が集まっていたことだろう。もちろん、いかに主の話とは言え、幼な子たちがみ言葉を理解することは出来なかったであろうが、人々は主のみ言葉を聴くために集まったのであり、本来の礼拝がそこにあった。騒ぐ幼な子らもいる中で、母親たちは彼らの面倒をみながら、主のみ言葉を一言も聞き漏らすまいと一所懸命に耳を傾けていたことであろう。そのような群衆に向けて、主は一人でも多くの魂をとらえるために、目の前の野花や小鳥たちも例に挙げながら、分かりやすく語られた。それは人々の心を捕らえたに違いない。思うに、礼拝とは本来、幼子も交えた家族みんなが捧げられるものであることを改めて教えられるのである。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榑原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしております。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。